

「第71回三輪明神大神神社書初めまつり」に出品

令和8年2月8日（日）から11日（水）にかけて、大神神社大札記念館にて「書初めまつり」入賞作品展が開催されました。

今回は、私どもの受講生のうち約60名の児童・生徒が、学校または教室を通して出品しました。審査の結果、6名が準特選、40名が優秀賞を受賞し、昨年より出品者数は10名、入賞者数は13名増えるという喜ばしい成果となりました。

会期初日の8日（日）は雪が舞うあいにくの天候で、さらにインフルエンザの流行も重なり、作品を見に行けなかったという声も聞かれました。

そのような状況ではありましたが、展覧会場では、壁面に展示された上位入賞作品はもちろん、机上展示の作品もいずれもすばらしく、こどもたちが一生懸命に取り組んだ姿勢が伝わる作品ばかりでした。

自分の作品を探すこどもたちを、ご家族がスマートフォンで撮影しながら「どう、あった？」 「まだ見つからない」「あった、あった。これ、見つけたよ、お父さん」と声を交わす様子や、笑顔で作品を手に記念写真を撮る姿は、とても温かく、思わずほほ笑みがこぼれるひと時でした。

書道は脳の活性にもつながります。デジタル化が進む今だからこそ、「文字を書く」ことがこどもたちの心と体の成長に良い影響を与えると信じ、その一助となればと願っています。書を通して、こどもも大人も、すべての人が日々を明るく元気に、健やかに過ごしてほしいと願っています。

また、日本国内にとどまらず、世界の人々へ書の魅力を発信し、平和への架け橋となることを願い、私たち講師一同も新たな取り組みに挑戦してまいります。

入賞された皆さん、本当におめでとうございます。惜しくも今回は入賞に至らなかった皆さんも、「継続は力なり」です。来年もぜひ一緒にチャレンジしましょう。

